

<b>環境ビジネス</b>		<b>松永 裕己</b>	
---------------	--	--------------	--

配当年次	2年次	配当学期	1学期	科目区分	アドバンスト
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標  
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	◎	環境ビジネスに関連する専門的知識を修得する。
	実践知識		
技能	分析解決技能		
	実務技能		
	新規事業技能	△	環境ビジネス分野での新規事業構想力を身につける。
態度	倫理観態度	○	環境問題に関する意識を高め、社会的責任感と倫理観を身につける。
	企業変革態度		
	地域リーダー態度	○	地域やコミュニティの視点から環境ビジネスを構想する力を修得する。
	国際協調態度	○	国際的な視野から環境ビジネスを構想する力を修得する。

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

環境ビジネス

### 授業の概要

本講義では、リサイクルビジネスを中心として環境ビジネスのマネジメントについて学ぶ。第1に経済システムという視点から環境問題や環境行動を考察する。第2に、環境ビジネス分野ごとの動向を把握し、現状分析と課題抽出を行い、その動向を探る。第3に、企業経営において必要とされる環境行動について検討し、分析フレームワークに基づく課題解決のためのプランを検討する。その上で、環境問題の解決に結びつくようなビジネスモデルを立ち上げることを想定したグループ学習を行う。

### 教科書

講義は基本的に配布プリントにて行うが、必要に応じて参考文献を指定する。

### 参考書

マイケル E. ポーター、マーク R. クラマー「共通価値の戦略」『ダイヤモンドハーバードビジネスレビュー』2011年6月号。  
ダニエル・C・エスティ／アンドリュー・S・ウィンストン（村井章子訳）『グリーン・トゥ・ゴールド』アスペクト、2008年。  
そのほか、適宜講義の中で紹介する。

### 授業計画・内容

- ① イントロダクション  
【環境ビジネスとは何か】
- ② 企業活動と環境問題  
【環境問題と企業活動の関係を考える】
- ③ 社会システムと環境問題  
【持続可能な発展：市場・行政・社会のシステム】
- ④ 市場と環境問題  
【市場システムを活用した環境問題解決手法】
- ⑤ リサイクルビジネスの基礎  
【リサイクルビジネスの分野と成長可能性】
- ⑥ リサイクルビジネスの課題  
【リサイクルビジネスの課題とその解決方法】
- ⑦ 環境ビジネスにおける顧客創造  
【顧客とは誰か？顧客創造とは何か？】
- ⑧ 環境ビジネスの市場分析と参入可能性 1  
【市場分析のフレームワーク】
- ⑨ 環境ビジネスの市場分析と参入可能性 2  
【プレゼンテーションとディスカッション】
- ⑩ 環境ビジネスの市場分析と参入可能性 3  
【プレゼンテーションとディスカッション】
- ⑪ 環境産業クラスター 1  
【環境産業クラスターの現状と課題】

- ⑫環境産業クラスター2  
【環境ビジネスにおける戦略とCSV】
- ⑬現場から考える環境ビジネス1  
【ゲストスピーカーによる講義と議論】
- ⑭現場から考える環境ビジネス2  
【ゲストスピーカーによる講義と議論】
- ⑮課題発表とディスカッション  
【課題設定にもとづきプレゼンテーションおよびディスカッション】

**成績評価の方法** 講義への貢献度（発言回数、発表内容、建設的な議論への寄与など）：50%、課題の内容（レポートなど）：50%

**事前・事後学習の内容** 原則として毎回課題を課すので、次回に授業までに準備しておくこと。課題の内容については、次回の授業のための資料の読み込みや論点の整理、あるいは授業で得た知見を活用したレポート作成を予定している。

**履修上の注意** 受講に際しては、一方で環境問題や環境活動に対する固定観念を一度取り払うこと、もう一方で環境問題に関連する社会経済の動向に注意を払うことを求める。

**担当者からのメッセージ**

**キーワード** 環境問題、環境ビジネス、リサイクル、エコタウン事業